

経営学研究科博士後期課程

【ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）】

本研究科博士後期課程の所定の単位を修得し、以下の目標を達成した学生の修了を認め、博士（経営学）の学位を授与します。建学の精神「学問による人間形成」に基づき、経営学分野において独創的かつ先駆的な研究を行い、国際的に通用する高度な専門知識と研究能力を備え、‘協創’を通して持続的社会の発展に貢献する人物を育成します。経営学研究科で学んだ学生がこのような人間に成長したことを、以下の資質・能力を身につけた学生に対し、研究科の学位授与方針に従って修了を認定し、博士（経営学）の学位を授与します。

1. 経営学研究を通じて、経営学の最先端の理論と方法論を深く理解し、それらを用いて複雑な経営現象を分析できる能力を有していること。
2. 経営学研究を通して、他者を尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深めるとともに、強い倫理感と社会的責任感のもとに、他者と力を合わせて何かを作り上げていこうとする“協創”力を有していること。
3. 自律した経営学専門家として活動するために必要な専門的知識を有し、組織や社会の新しい問題を発見し、その問題を解決して論文などを通して表現し発表できる能力を有していること。

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）】

経営学研究科博士後期課程は、建学の精神である「学問による人間形成」に基づいて定められたディプロマ・ポリシーの修学目標を、全ての学生が到達するように、以下の方針でカリキュラムを構築します。

1. ビジネスイノベーションの研究・教育に関して、営利ビジネス分野、非営利ビジネス分野、共通ビジネス分野の3分野に区別して様々な「特殊研究科目」を設定する。3つの分野における各科目では、それぞれ現代におけるイノベティブな

変化、その過程で生じる諸問題、それらの解決可能性について議論し、教授する。
その評価に関しては、学習過程での形成的評価を適宜行い、各科目の特性に合わせた様々な多様な評価方法を適用して、可否の判定を伴う総括的評価を実施する。

2. 営利ビジネス分野、非営利ビジネス分野、共通ビジネス分野における様々なイノベーションに関する研究論文の作成を指導するために「研究指導科目」を設定する。その評価に関して、研究計画の策定及び研究実施の過程において形成的評価を適宜行い、可否の判定を伴う総括的評価に関しては複数の研究科担当教員が関わる形で、経営学研究科（博士後期課程）が示す基準に基づき、学内外の多様な評価者が関わる形で、学位論文審査及び最終試験（口頭試問）を行う。

【アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）】

経営学研究科博士後期課程では、本研究科の理念に共感し、修士課程で培った実践知に根ざす学術研究能力を基盤に、企業、地域社会、国家、そして国際社会の発展を積極的に貢献する人物の養成を行います。そのため、以下の資質・能力もしくは志向を有する人の入学を期待します。

1. 営利・非営利ビジネス分野、または業界横断的な共通ビジネス分野に関する基礎知識を有し、イノベーションに関連する理論と実践を深く探究する意欲を持つ人。
2. イノベーション研究に必要な外国語能力を有し、グローバルかつ学際的な視点から課題を発見・解決する能力を身につけたいと考える人。
3. 講義や研究指導を通じて、社会・経済の発展に寄与するための高度な研究能力と創造力を磨き、現代の課題に挑戦する意欲を持つ人。

(2026年4月入学者用)